

令和 6 年度事業報告書

社会福祉法人聖マリア会

本 部

1. 法人の運営

(1) 所在地 長崎県五島市松山町706番地3

(2) 法人の運営方針

「福祉サービスを必要とする者が、心身ともに健やかに育成され、又は社会、経済文化その他のあらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるとともに、その環境、年齢及び心身の状況に応じ、地域において必要な福祉サービスを総合的に提供されるようにカトリックの精神に基づき援助する。」

(3) 事業内容

第一種社会福祉事業

(イ) 特別養護老人ホームの経営

第二種社会福祉事業

(イ) 保育所の経営

(ロ) 放課後児童健全育成事業の経営

(ハ) 老人デイサービス事業の経営

(ニ) 老人短期入所事業の経営

(ホ) 老人居宅介護等事業の経営

(ヘ) 老人介護支援センターの経営

公益を目的とする事業

(イ) 居宅介護支援事業

(4) 役員数

理事 6名 評議員 7名 監事 2名 (別紙参照)

2. 理事会の開催

開催年月日	場 所	議 題
令和6年5月	聖マリア会 会議室	令和5年度事業報告、令和5年度決算の承認 社会福祉充実計画の報告 給与規程の一部変更について 運営規程の一部変更について 福祉車両の購入について（みみらくの里） 介護ソフトの購入について（みみらくの里） 定時評議員会の提出議題
令和6年9月	聖マリア会 会議室	令和6年度第1次資金収支補正予算（案）について 給与規定の一部変更について 温水ヒーター更新取替工事について（聖マリアの園） 介護テクノロジー普及促進補助金について 令和7年度の通所介護事業所の動向について 聖マリア保育園の駐車場について 聖マリア保育園指導監査結果報告について 業務管理体制の取り組みへの評価と改善について
令和7年2月	聖マリア会 会議室	令和6年度第2次補正予算 令和7年度事業計画、令和7年度当初予算 指導監査の結果について 就業規則の一部変更について 給与規定の一部変更について 経理規定の一部変更について 運営規定の一部変更について 人件費積立の取崩について（みみらくの里） 施設長交代について 会社役員賠償責任保険の加入について（R7年度分） 評議員会への議題等について 業務管理体制の取り組みへの評価と改善

3. 評議員会の開催

開催年月日	場 所	議 題
令和6年6月	聖マリア会 会議室	令和5年度事業報告、令和5年度決算承認について 社会福祉充実計画の報告 議事録署名人選任
令和7年3月	聖マリア会会議室	通所介護事業所みみらくの里の閉鎖について

4. 評議員選任・解任委員会の開催

開催年月日	場 所	議 題

5. 監事監査の実施

開催年月日	場 所	監 査 担 当 者
令和6年5月	聖マリア会会議室	吉原 文代 岩崎 しのぶ

6. 役員の研修会参加状況 無

7. 大規模施設整備

令和 6 年度事業報告書

社会福祉法人聖マリア会

介護老人福祉施設聖マリアの園

令和6年度 聖マリアの園事業報告

1・基本方針

キリストの愛に基づき、温かい思いやり、優しさ、人格の尊重を目票とし、利用者の心身の介護に献身するとともに、全ての職員がそれぞれの専門性の向上を図る。

(ア) 運営状況

定員 86名 ショート⇒10名 ・年間利用延べ人数 2,890人

利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人	86	86	86	86	86	86	86	86	86	86	86	86	1,032

令和6年度の介護度の状況

要介護2→1名

要介護3→22名

要介護4→57名

要介護5→41名

令和6年度職員数 97名⇒97名職員の移動

採用 5名

採用年月日	職 種	氏 名	年齢	資格
令和6年4月1日	介護職	奥野いつみ	18	無
令和7年2月1日	理学療法士	今島 聖郁	40	有
令和7年3月1日	介護職	川上由香理		有
令和7年3月17日	看護師	中山 敦子	60	有
令和6年4月1日	宿直	狩浦 雅彦	65	無

退職 9名

退職年月日	職 種	氏名	年齢	資格
令和6年5月31日	看護職	山下豊美	57	有
令和7年3月31日	生活相談員	山下静代	71	有
〃	介護職	田端澄代	65	有

令和7年3月31日	介護職	畑中信吾	45	有
	介護職	赤峯久登	64	有
	訪問員	南ソミコ	70	有
	訪問員	北川とも子	62	有
	介護補助	狩浦麻衣	25	有
	看護師	古里文乃	24	有

2・職員会議開催状況

年1回(4月)

園内研修(年4回)

- ・感染対策委員会・身体拘束委員会・看取り委員会・褥瘡委員会・安全ケア向上委員会・衛生委員会・口腔ケア委員会・ノーリフティング委員会

3・収入の部

事業収入	金 額	摘 要
介護保険収入	457,634,197	施設介護・居宅介護・利用者負担・補助金
受取利息収入	52,689	受取利息配当金
その他の収入	2,485,100	受入実習・雑収入
合 計	460,171,986	

4・支出の部

職員数

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
常勤	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57
非常勤	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41
計	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98

人件費	364,467,486	職員給与・賞与、非常勤給与・退職金・法定福利
事業費支出	79,586,288	給食費・水道高熱・
事務費支出	18,704,218	業務委託・保守・福利厚生・修繕費等
利用者負担軽減	687,801	利用者減免の為25%差引を行っている。↓
計	463,445,793	

※水道光熱費、物価高騰のため。令和6年度はボイラーの入れ替えのため支出が膨らんでいる。

※、令和6年度も職員の協力を得て、冷暖房の時間帯を工夫していただき光熱費を抑えるよう意識してきたが少々難しかった。今回は修繕費等が高張って5,000,000円を超えてきた。収入的には補助金が314万ぐらいで、職員の処遇改善費等を賄うことが出来た。しかし、年が明けてから入院者がいて多い時には9名ほどで収入源が大きく左右された。

※令和5年度からノーリフティングを取り入れることによって、職員が仕事に取り組む姿勢が徐々に変化してきています。定期的に研修会に参加することは大変でしたが、自分たちの事として利用者のサービスに繋がることに期待しながら推し進めている。

※令和6年度は生産性の向上を国が挙げていることで、方向性としては、ノーリフティングの取組も継続していき、その中にあって委員会の取組を細分化して職員自ら指導し、指導されながらお互いが無理が行かないように、生産性を上げる方法を構築して次年度につなげていく。

※昨今、ハラスメントについて世の中の流れが、大きなうねりを伴って私たちの生活を脅かすようになってきました。職員、利用者等を守るためにも施設内で勉強会等を行っていかなければならなくなりました。また、カスタマハラスメントによって、職員が利用者からの暴言、暴力、抑圧等から精神的に病むひとが出てきているようなので産業医との連携を密に、また、アンケートを取り職員との面談を行って事業の展開を図っていくようにしてきた。

※訪問介護事業所は職員の高齢化によって徐々に事業の幅を大きくしないで、出来ることを懇切丁寧に行い、すっきりした事業の終焉を迎えられるようにとの意向で、令和6年度は職員の退職もあり、規模的には小さくなっている。

※地域密着型通所介護は利用者数が多くなり収入も増えてきている。5人の職員で事業の展開を行ってるが、有給取得はきちんと出来ていてスムーズに流れている。

年齢別 利用者数

	男	女	計
～65歳未満	1	2	3
65歳以上～70歳未満	0	0	0
70歳以上～75歳未満	1	1	2
75歳以上～80歳未満	6	7	13
80歳以上～85歳未満	2	8	10
85歳以上～90歳未満	9	16	25
90歳以上～95歳未満	9	29	38
95歳以上～100歳未満	3	19	22
100歳以上	0	8	8
合計	31	90	121



【平均年齢】

	男	女	平均
【平均年齢】	86	90	89
平均	86	90	89

【最少年齢】

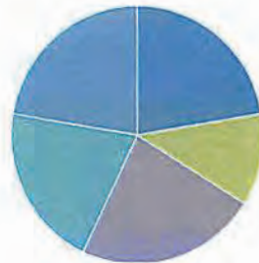
	男	女	最小
【最少年齢】	64	60	60
最小	64	60	60

【最高年齢】

	男	女	最大
【最高年齢】	99	103	103
最大	99	103	103

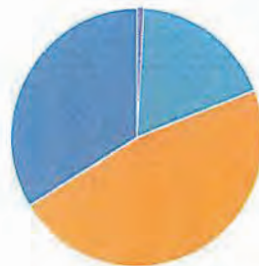
エント別 利用者数

	男	女	計
Aユニット	8	19	27
Bユニット	0	0	0
Cユニット	5	9	14
Dユニット	6	22	28
Eユニット	5	20	25
外泊	0	0	0
入院	7	20	27
合計	31	90	121



要介護状態区分別 利用者数

	男	女	計
要支援 1	0	0	0
要支援 2	0	0	0
要介護 1	0	0	0
要介護 2	0	1	1
要介護 3	3	19	22
要介護 4	16	41	57
要介護 5	12	29	41
その他	0	0	0
(未入力)	0	0	0
合計	31	90	121



年齢別 要介護状態区分別 利用者数

		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	(未入力)	計
～65歳未満	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	計	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
65歳以上～70歳未満	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70歳以上～75歳未満	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	計	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
75歳以上～80歳未満	男	0	0	0	0	0	3	3	0	0	6
	女	0	0	0	0	1	4	2	0	0	7
	計	0	0	0	0	1	7	5	0	0	13
80歳以上～85歳未満	男	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
	女	0	0	0	0	2	2	4	0	0	8
	計	0	0	0	0	2	3	5	0	0	10
85歳以上～90歳未満	男	0	0	0	0	0	5	4	0	0	9
	女	0	0	0	1	0	13	2	0	0	16
	計	0	0	0	1	0	18	6	0	0	25
90歳以上～95歳未満	男	0	0	0	0	3	4	2	0	0	9
	女	0	0	0	0	6	11	12	0	0	29
	計	0	0	0	0	9	15	14	0	0	38
95歳以上～100歳未満	男	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
	女	0	0	0	0	5	7	7	0	0	19
	計	0	0	0	0	5	8	9	0	0	22
100歳以上	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	4	2	2	0	0	8
	計	0	0	0	0	4	2	2	0	0	8
合計		0	0	0	1	22	57	41	0	0	121

ユニット別 要介護状態区分別 利用者数

		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	(未入力)	計
Aユニット	男	0	0	0	0	0	7	1	0	0	8
	女	0	0	0	0	3	12	4	0	0	19
	計	0	0	0	0	3	19	5	0	0	27
Bユニット	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Cユニット	男	0	0	0	0	0	4	1	0	0	5
	女	0	0	0	0	3	2	4	0	0	9
	計	0	0	0	0	3	6	5	0	0	14
Dユニット	男	0	0	0	0	0	2	4	0	0	6
	女	0	0	0	0	4	12	6	0	0	22
	計	0	0	0	0	4	14	10	0	0	28
Eユニット	男	0	0	0	0	1	1	3	0	0	5
	女	0	0	0	1	6	7	6	0	0	20
	計	0	0	0	1	7	8	9	0	0	25
外泊	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院	男	0	0	0	0	2	2	3	0	0	7
	女	0	0	0	0	3	8	9	0	0	20
	計	0	0	0	0	5	10	12	0	0	27
合計		0	0	0	1	22	57	41	0	0	121

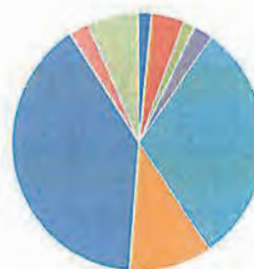
障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)【認定履歴】

	男	女	計
自立	0	0	0
J 1	0	0	0
J 2	0	0	0
A 1	1	3	4
A 2	1	2	3
B 1	2	6	8
B 2	4	19	23
C 1	9	26	35
C 2	11	30	41
(未入力)	3	4	7
合計	31	90	121



認知症高齢者の日常生活自立度【認定履歴】

	男	女	計
自立	1	1	2
I	2	3	5
II a	0	2	2
II b	0	3	3
III a	6	31	37
III b	3	10	13
IV	13	35	48
M	2	1	3
(未入力)	4	4	8
合計	31	90	121



入所期間【入退所履歴】

	男	女	計
～半年未満	7	17	24
半年以上～1年未満	6	7	13
1年以上～2年未満	6	22	28
2年以上～3年未満	3	11	14
3年以上～4年未満	4	12	16
4年以上～5年未満	1	5	6
5年以上～10年未満	4	15	19
10年以上	0	1	1
合計	31	90	121



【平均入所期間】

	男	女	平均
【平均入所期間】	764	979	924
平均	764	979	924

入所(院)前状況【入退所履歴】

	男	女	計
-	0	0	0
居宅	2	8	10
医療機関	12	13	25
介護老人福祉施設	0	2	2
介護老人保健施設	5	8	13
介護療養型医療施設	0	0	0
認知症対応型共同生活介護	0	11	11
特定施設入居者生活介護	0	2	2
その他	12	46	58
合計	31	90	121



主傷病名【入退所履歴】

	男	女	計
合計	0	0	0

負担段階【補足給付】

	男	女	計
1	3	5	8
2	2	24	26
3①	3	9	12
3②	6	14	20
4	9	28	37
(未入力)	8	10	18
合計	31	90	121



旧措置給付率

	男	女	計
合計	0	0	0

社福減免

	男	女	計
0	2	1	3
25	0	5	5
合計	2	6	8

生活保護

	男	女	計
生活保護	2	5	7
合計	2	5	7

保険者【認定履歴】

	男	女	計
五島市	31	90	121
(未入力)	0	0	0
合計	31	90	121



令和6年度 聖マリアの園 行事及び事業実施報告書

[illegible]

令和6年度 園内研修状況

	委員会等名	研 修 内 容
令和6年 6月11日	安全対策・ケア向上委員会	◆リスクマネジメントのPDCAの定着 ＊定着度の評価について ◆緊急時対応訓練の実践と評価 ＊呼吸の確認と胸骨圧迫の方法
	看取り委員会	◆看取りケアとその備品の周知徹底 ＊夜間対応について ＊ショートステイ利用の方について ＊エンゼルケア物品の場所について
	感染予防対策委員会	◆各ユニットでの嘔吐物処理の研修の実施 ＊気づき・反省点 ＊インフルとコロナの対応の違い
	口腔機能向上委員会	◆口腔ケアの必要性 ＊口腔ケアとは ＊口腔ケアを行う目的
令和6年 7月9日	衛生委員会	◆腰痛調査の目的 ＊ノーリフティングケアの導入にあたり、腰痛調査を実施 ＊腰痛調査の結果
	褥瘡予防対策委員会	◆褥瘡ケアの基本 ＊R5年度の発生データ ＊褥瘡についての基礎知識 ＊介護現場で困っていること、周知すること
	身体拘束委員会	◆介護現場における高齢者虐待の現状 ◆介護現場における現状を防ぐために ◆緊急やむをえない場合の身体拘束への対応
	生産性向上 ノーリフティング委員会	◆ノーリフティングの必要性和目的の理解 ＊ノーリフティングとは何か（必要性） ＊ノーリフティングの目的
	感染症対策委員会 (デイ、ヘルパー) (居宅介護支援事業所)	◆感染症対策委員会の取り組み ＊オウトロックの使用法について（研修） ＊基本的な感染対策
令和7年 1月18日	安全対策・ケア向上委員会	◆入所者の安全を守るために ＊表皮剥離のデータから発生要因の究明と予防への取組 ＊委員会との連携について
	看取り委員会	◆エンゼルケアの流れ ◆エンゼルケアメイクについて

令和6年度 園内研修状況

	委員会名	研 修 内 容
令和7年 1月18日	感染予防対策委員会	◆食中毒について *食中毒の分類 ◆ノロウイルスについて 特徴、感染様式、予防
	口腔機能向上委員会	◆摂食嚥下ケアについて *食事を安全に食べるためにできること *食事場面でのその他尾課題として *口腔リハビリとは
令和7年 2月18日	衛生委員会	◆ハラスメントに関する内容とアンケート結果 *ハラスメントとは *ハラスメントアンケート結果 ◆施設の方針 ◆ハラスメントをなくすために自分ができること
	褥瘡予防対策委員会	◆事例報告 *持ち込み褥瘡発生から完治まで *事例からの学び
	身体拘束廃止委員会	◆虐待、不適切ケア、グレーゾーンについてのアンケート結果報告 ◆高齢者虐待5項目
	ノーリフティング・ 生産性委員会	◆ノーリフティングケアマネジメントの取組について *ノーリフティングケアの必要性 ◆ノーリフティングケアマネジメントの取組 ◆ノーリフティングケアマネジメントの目的
	虐待防止委員会 (デイ、ヘルパー)	◆スピーチロックとは *スピーチロックが与える影響 *スピーチロックを防ぐために *スピーチロックからの言い換えのポイント

令和6年度 外部研修状況

月	研修期間	研 修 名	参加人数
4月	9 日	改定ポイント総解説	1名
	13 日	令和6年度介護報酬改定後の最終チェックと新型処遇改善加算の実務	1名
5月	日		
6月	19 日	業務継続計画（BCP）机上訓練（自然災害編） 入所、通所、訪問	8名
	20 日	聖マリア病院学術研究発表会	80名
	23 日	法人再編成検討会	2名
7月	17 日	業務継続計画（BCP）机上訓練（感染症編） 入所、通所、訪問	10名
	18 日	お告げのマリア修道会下五島地区施設長会職員研修	90名
	18 日	介護支援専門員更新研修 課程Ⅱ	1名
	25 日	介護支援専門員更新研修 課程Ⅱ	1名
8月	2 日	聖マリア病院 研修医研修「認知症と徘徊の対応」	90名
	5 日	社会福祉法人の経営力強化 ～財務会計と労務管理～	2名
	10 日	介護支援専門員更新研修 課程Ⅱ	1名
	28 日	リワーク支援（職場復帰支援）オンライン説明会	1名
	29 日	令和6年度 五島保健所管内教職施設関係者研修	1名
9月	日		
10月	8 日	義務化された財務諸表公表を徹底解説	1名
	15 日 ～ 16 日	主任研修会	1名
	29 日	育児休業法・介護休業法の改定について	3名
	30 日	口腔機能向上加算を活かした差別化戦略	1名
11月	9 日	保護者からのヘビークレームへの対応策	6名
	14 日	個別機能訓練加算 算定に必要な帳票の書き方を1つずつ	1名
12月	4 日	ノーリフティングケア 基礎研修会	4名
	10 日	令和6年度介護サービス事業者集団指導	2名
1月	17 日	処遇改善に関する研修会	1名
	20 日	団塊の世代は特養をどう変えるのか ～データから読み解く特養のこれから	2名
2月	8 日	入浴介助加算に関する研修	6名
	19 日	処遇改善加算の算定要件と最新動向を徹底解説	1名
	25 日	経験交流会 魅力ある職場づくり、新たな支援補助金	2名
3月	7 日	令和6年度高齢者権利擁護推進員養成研修（管理者課程）	1名
	10 日	科学的介護情報システム研修会	3名
	18 日	生産性向上の取組の考え方とポイント	5名
	26 日	感染対策WEB勉強会 標準予防策の基礎と環境整備	8名

令和6年度 実習生受け入れ状況

	期 間	内 容	実 習 校 名	延べ人数
4月	受け入れなし			
5月	受け入れなし			
6月	10 日 ～ 14 日	特養一般介護実習	鶴南高校	5 名
	17 日 ～ 21 日	特養一般介護実習	鶴南高校	5 名
	24 日 ～ 28 日	特養一般介護実習	鶴南高校	5 名
7月	5 日	特養一般介護実習	五島高校衛生看護科	7 名
	8 日	特養一般介護実習	五島高校衛生看護科	7 名
8月	受け入れなし			
9月	受け入れなし			
10月	受け入れなし			
11月	8 日	特養一般介護実習	鶴南高校	1 名
	11 日 ～ 15 日	特養一般介護実習	鶴南高校	5 名
	18 日 ～ 21 日	特養一般介護実習	鶴南高校	4 名
	25 日 ～ 29 日	特養一般介護実習	鶴南高校	5 名
	29 日	特養一般介護実習	五島高校衛生看護科	7 名
12月	2 日 ～ 6 日	特養一般介護実習	五島高校衛生看護科	35 名
1月	受け入れなし			
2月	受け入れなし			
3月	受け入れなし			

令和 6 年度受け入れ延べ人数

計 86 名

令和6年度 地域密着型通所介護事業所聖マリアの園行事並びに事業報告書

[illegible]

訪問介護事業所 聖マリアの園

[illegible]

令和6年度 配食サービス事業報告書

聖マリアの園配食サービス

月	配食数	単価	補助金請求額	単価	利用者額	合計
4月	172	550	94,600	400	68,800	163,400
5月	172	550	94,600	400	68,800	163,400
6月	154	550	84,700	400	61,600	146,300
7月	170	550	93,500	400	68,000	161,500
8月	154	550	84,700	400	61,600	146,300
9月	132	550	72,600	400	52,800	125,400
10月	156	550	85,800	400	62,400	148,200
11月	156	550	85,800	400	62,400	148,200
12月	169	550	92,950	400	67,600	160,550
1月	186	550	102,300	400	74,400	176,700
2月	175	550	96,250	400	70,000	166,250
3月	201	550	110,550	400	80,400	190,950
合計	1,997		1,098,350		798,800	1,897,150

令和 6 年度事業報告書

社会福祉法人聖マリア会

小規模特別養護老人ホームみみらくの里

令和6年度 事業報告書

小規模特別養護老人ホームみみらくの里

1. 基本理念

【「自分を愛するように他人を愛しなさい」みみらくの里に勤務する私たちは、キリストの精神に基づき、ご利用者の心身の状況に応じ、適切な介護を目指します。】

2. 年間目標内容報告

- (1) 「その人らしい暮らしの継続」のユニットケアの基本目標に基づき、利用者様一人一人の個性や意思を尊重し、また、健康状態に合わせた生活のリズムを大切にしながらその人らしく、より安心して気持ちよく生活できるように居室やリビング等の環境を整え、介護サービスを提供した。
- (2) ご利用者一人一人の健康状態を常に把握し、病状等には迅速に対応しながら、健康管理や機能訓練等を行い、安心して生活できるよう配慮を行った。
- (3) 各会議や委員会の活動において活発な意見を出し合い、ご利用者及び職員が安全に生活し、働きやすい環境をつくり、看護、介護等の質の向上を目指し活動を行った。会議、委員会は次の通り実施した。

	会議・委員会名	実施回数		会議・委員会名	実施回数
1	職員会議	年 13 回	8	虐待防止・身体拘束廃止委員会	年 6 回
2	代表者会議	年 12 回	9	排泄委員会	年 4 回
3	リーダー会議	年 12 回	10	スキンケア委員会	年 4 回
4	入所検討委員会	年 9 回	11	口腔ケア委員会	年 4 回
5	衛生管理委員会	年 12 回	12	ノーリフティング委員会	年 4 回
6	安全対策委員会	年 12 回	13	各ユニット会議	年 12 回
7	災害・エコ・給食委員	年 6 回	14	生産性委員会	年 4 回

- (4) ご利用者や職員の体に負担をかけないようノーリフティングケアに取組、用具等使用の研究研修を行い、備品等の工夫を考慮しながら、機能訓練及び腰痛予防対策を推進した。
- (5) 各種マニュアルを見直し、一人一人が理解し実行することによってご利用者も職員もかつ安全安心な生活や活動ができ、質の向上を高めるように行った。
- (6) 感染症や災害等における業務継続計画（BCP）を基に、職員による訓練等を行い、どんな状況等においてもよりよい介護サービスを提供できるように努めた。

(7) 施設内研修・介護者教室

毎月の職員会議の前に、年間計画でテーマと担当を決めて、介護者教室を行っている。採用時には新人研修を行っている。

	月日	研修・介護者教室名	参加者		月日	研修・介護者教室名	参加者
1	4/18	薬について	全職員	9	12/19	排泄介助	全職員
2	5/16	倫理及び法令順守	〃			感染症対策シュミレーション	〃
3	6/20	食中毒予防・災害時BCP	〃	10	1/16	褥瘡予防	〃
4	7/26	高齢者の口腔ケア	〃			ストレスケア	〃
5	8/22	ハラスメントについて	〃			身体拘束と見守り機器	〃
		身体拘束・虐待防止	〃	11	2/20	高齢者に対する口腔ケア	〃
6	9/19	認知症への理解と対応	〃	12	3/20	ノーリフティング	〃
		プライバシー保護	〃			事故発生防止	〃
7	10/25	高血圧症について	〃				
		BCPについて	〃	1	4/15	新人職員研修	池田
		感染対策研修・訓練	〃	2	11/18	新人職員研修	大江・里
8	11/25	グリーフケア	〃	1	8/26	喀痰吸引研修	介護職
		事故防止の知識	〃	2	8/27	喀痰吸引研修	介護職

外部研修

月 日	施設外研修	参加者	主催
4/5	五島老施協新人職員合同研修会	池田	五島老施協
6/18	施設長研修会	赤尾	長崎県老施協
6/19	BCP机上訓練（自然災害編）	赤尾	あいおいニッセイ同和損保
6/20	聖マリア病院学術研究発表会	24名	聖マリア病院
7/18	安全対策担当者養成研修	石谷	全国老施協
8/6～7	お告げのマリア施設長会研修会	赤尾	お告げのマリア施設長会
8/24	地域から必要とされる持続可能な福祉組織とは	赤尾 金松	五島老施協
9/10～13	ユニットリーダー研修	石谷	日本ユニットケア推進センター
9/13	安全運転管理者講習	山本	
10/15～16	お告げのマリア施設長会主任研修会	金松	お告げのマリア施設長会
12/4	ノーリフティング基礎研修会	三田、大江	五島老施協
2/18	認知症基礎研修	大江	RAIMU
3/7	高齢者施設におけるACP推進研修会	太田、下野、池田	日本ユニットケア推進センター

- (8) 毎月のカンファレンスにおいて、ご利用者の生活の状況や症状及び個別ケアのリハビリ等の経過を多職種職員で情報を共有し健康及び機能回復と維持を目指しながら、処遇改善を図る。

また、レクリエーション、体操等をできるだけ取り入れ、楽しみをもって生活できるように配慮を行った。

(9) 二次離島（嵯峨島）におけるミニデイ事業を行い、地域に必要な介護サービスを提供し、五島市の委託事業に協力した。令和7年3月末をもって終了となった。

(10) 第三評価による結果より、職員が情報を共有し意識を高めながら、評価が低いものを中心に改善策を考慮し実行していくようにする。評価が高いものは、そのまま継続できるようにした。

3. 通所介護事業所の廃止

通所介護事業所みみらくの里は、令和7年3月末をもって廃止となりました。

4. 利用者様の入居人数及び実績数（ユニット制）

介護老人福祉施設（定員30名）延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	12	—	—	287
要介護3	120	124	107	109	93	98	124	120	124	124	112	124	1,379
要介護4	445	440	394	386	416	429	496	451	468	460	425	450	5,260
要介護5	300	302	310	341	322	300	279	266	263	279	252	294	3,508
合計	895	897	841	867	862	857	930	867	886	875	789	868	10,434
稼働率	99%	96%	93%	93%	93%	95%	100%	96%	95%	94%	94%	93%	95%
ひと月の平均利用者数	29.9	29.0	28.1	28.0	27.9	28.6	30.0	28.9	28.6	28.3	28.2	28.0	28.6

（介護予防）短期入所生活介護（定員10名）延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
要支援2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
要介護1	26	7	—	5	3	—	—	—	—	12	5	9	67
要介護2	84	79	67	80	82	65	53	44	37	37	40	43	711
要介護3	93	101	90	87	93	79	64	35	53	74	73	92	934
要介護4	55	69	94	85	45	49	95	143	150	105	74	61	1,025
要介護5	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	7	40	50
合計	258	256	251	260	223	193	212	222	240	228	199	245	2,787
稼働率	86%	83%	84%	84%	72%	64%	68%	74%	77%	74%	71%	79%	76%

地域密着型通所介護／総合事業・通所型（定員 15 名）延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象	17	18	16	17	17	9	9	8	8	7	8	－	134
要支援 1	5	6	5	3	4	3	6	5	3	1	2	5	48
要支援 2	9	9	7	7	8	9	8	8	8	7	8	7	95
要介護 1	43	55	47	57	48	60	64	43	39	37	17	16	526
要介護 2	10	13	11	13	18	12	3	18	20	19	20	19	176
要介護 3	2	5	－	－	－	－	－	－	－	4	3	4	18
要介護 4	13	14	4	6	10	8	11	3	－	－	－	－	69
要介護 5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0
合計	99	120	90	103	105	101	101	85	78	75	58	51	1,066
稼働率	30%	35%	30%	30%	32%	32%	29%	27%	26%	25%	19%	17%	28%
営業日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	20	255

5. 職員の状況

- ① 採用者・・・看護師（池田 4/1）・介護士（大江展 11/18）・調理員（大江里 11/18）
介護士（坂本 3/1）
- ② 退職者・・・看護師（川口 4/8）・施設長（赤尾 3/31）・看護師（平野 3/31）
介護士（阿野 3/31）・介護士（濱里 3/31）・短時（中島 3/31）
短時間介護士（平山 3/31）
- ③ 定年退職・再雇用（3月末）・・・介護士（竹内）
- ④ 職員数・・・施設長（1）生活相談員（1）事務員（2）介護支援専門員（1）嘱託医（1）
（3月末現）看護師（3）機能訓練指導員（1）介護士（23）栄養士（1）調理員（5内2パート）通所相談員（1）通所看護師（1）通所介護士（1）宿直（3）パート
タイム職員（5） 合計 50 名

6. 利用者様健康管理計画

- ①全員月に1度診察、体調変化により医師への情報伝達および通院（随時） ②定期健康診断、一年に2回 ③インフルエンザ予防接種（11月） ④胸部レントゲン検診、一年に1回
- ⑤肺炎球菌ワクチン接種

7. 職員の健康管理計画

- ① 全員健康診断、一年に2回（採用者は採用時に1回目実施） ②調理職員一月に1回検便（赤痢他・必要に応じノロウイルス検査） ③腰痛調査（年2回）

8. 実施行事

- ④月 花見・誕生祝（ユニット別） ⑤月 ミニショッピング・母の日・聖母祭・誕生祝
⑥月 父の日・誕生祝 ⑦月 七夕飾り（学童と）・誕生祝 ⑧月 誕生祝 ⑨月 敬老祝賀会・誕生祝

生祝 (10月) 誕生祝 (11月) 誕生祝 (12月) クリスマス会・誕生祝 (1月) 獅子舞見学、誕生祝 (2月) 節分、ミニショッピング、小学生との交流会・誕生祝 (3月) ひな祭り・誕生祝

9, 訪問交流・介護体験

7/3、学童との七夕交流 8/2、五島南校介護体験ボランティア 12/9、聖母保育園お遊戯披露
2/27、三井楽小4年生との交流 3/11、三井楽小6年生より花のプランター寄贈
3/13、南高よりチューリップ鉢寄贈 7/29～31、教職員介護体験

10, 非常時及び災害避難訓練計画

- ①地震対応避難訓練 1 回 (5/14) ②台風時避難訓練 1 回 (7/19)
- ③火災昼間想定避難訓練 1 回 (9/23) ④夜間想定避難訓練 1 回 (11/12)
- ⑤総合訓練 1 回 (3/4)

11, 実施した施設設備

(1)施設の設備。補修工事(100万円以上)

該当なし

(2)固定資産物品(10万円以上)

器具備品	ガス給湯器	286,000 円(神田商会)
	エアコン	165,000 円(マルイ電気)

(3)修繕等工事関係

浴槽・洗濯機・車等の修理、ガラスフィルム貼り等があったが、大きな工事は該当なし

令和 6 年度事業報告書

社会福祉法人聖マリア会

聖マリア保育園

令和6年度 聖マリア保育園事業報告書

1. 保育所の運営

(1) 児童定員 90名

(2) 年齢別、月別入所児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0才児	3	5	7	7	7	7	7	8	9	9	9	9	87
1～2才児	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	432
3才児	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	215
4才以上児	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	396
計	89	92	94	94	94	94	94	95	96	96	96	96	1130

(3) 職員数 24名

(4) 職員の移動

①採用

年 月 日	職 名	氏 名	年 齢	資 格
令和 年 月 日				
令和 年 月 日				

②退職

年 月 日	職 名	氏 名	年 齢	資 格
令和7年3月31日	主任保育士	岩永真由子	49	有
令和7年3月31日	調理員	山本理恵	40	有

(5) 職員会議の開催状況

毎月一回の全職員で行い、必要に応じて随時行った。

会議の内容は会議録に記載して保管している

2. 保育の実施状況

(1) 保育目標（方針）

保育方針は、「保育所保育方針」を基本とする。

職員は、豊かな愛情をもって、子どもや家庭に対してわけへだてなく保育を行い、人権を尊重しプライバシーを保護することを第一義とし、保護者の意見や要望を真摯に傾聴してよりよい保育のために努力研鑽する。

(ア) 子どもの健康管理と安全を基本にして保護者の協力の下に家庭養育の補完を行う。

(イ) 子どもの個性や活動を大切にし、自己を十分に発揮しながら活動できるような環境を整え、健全な心身の発達を図る。

- (ウ) 豊かな人間性を持った子どもを育成する。
- (エ) 地域の医療や福祉、教育機関と連携し、保育の向上を図る。
- (オ) 乳幼児などの保育に関する要望や意見、相談に際しては、わかりやすい用語で説明をし、公的施設としての社会的責任を果たす。

保育の目標

《心も体も元気な子ども》

- 身近な動植物を通して、いのちの大切さを知る。
- 運動や休息、栄養をとり、規則正しい生活を送り、自ら安全を守るような生活習慣及び態度を身につける。
- くつろいだ雰囲気の中で情緒が安定し、意欲的に遊ぶ力を育む。

《思いやりのあるやさしい子ども》

- 相手の人権を尊重し、思いやりのある心を育てる。
- 祈る心、感謝する心、許しをこう心を育てる。
- 社会生活の基礎となる自主協調の心を育てる。

《自立できる子ども》

- 食事、はいせつ、睡眠、着脱衣、清潔などの正しい習慣をくり返し、自立の芽生えを養う。
- 身の回りの簡単なことは、自分で処理する力を育む。
- 生活の中で言葉への興味や関心を育て、豊かな情操、思考力、表現力の基礎を培う。
- さまざまな体験を通して、豊かな感性と創造性を培う。

(2) 保育時間 午前7時 ～ 午後6時30分

(3) 保育内容

デイリープログラムについては、保育目標をふまえ、児童の年齢に応じて、保育士、園長、主任保育士が協議して定めた年間、月、週、日の計画、年間行事計画に基づいて実施する。地域行事への参加、地域からの参加を考慮しながら、散歩など、自然の中での活動を多く取り入れ、体力作りに心がける。

(4) 外部講師（音楽、体育指導、英語教室）の指導状況

指 導 内 容	講 師 名	指導回数（月、週回）
和 太 鼓	増山 弘樹	年一回

2. 実施した特別保育事業

延長保育促進事業	一時保育自主事業
特別支援児童保育事業	病後児保育事業

- (5) 実施した主な行事 別紙 1
3. 職務分担表 別紙 2

4. 給食の実施状況

(1) 乳児

午前、午後のおやつ、昼食の完全給食（きざみ食）

(2) 1～2才児

午前、午後のおやつ、昼食の完全給食

(3) 3才以上児

昼食の副食、午後のおやつ

咀嚼力をつけ、あごの発達を促す献立、家庭で少なくなった野菜を取り入れた献立などを工夫しながら、バランスのとれた栄養価を考えた献立の作成に努める。

手作りおやつを多くし、うす味に心がけて調理した。

5. 健康管理の実施状況

(1) 児童

①小児科

第1回	5月17・21日	聖マリア病院	山下 先生
第2回	11月11・12日	聖マリア病院	山下 先生

②歯科

第1回	6月11日	佐々木歯科医院	佐々木先生
-----	-------	---------	-------

③尿・寄生虫検査

第1回	4月16日	(株)シー・アール・シー	
-----	-------	--------------	--

(2) 職員

①定期健康診断 6月1日より随時、聖マリア病院で行った。

②検便 調理員は毎月実施、他職員はその都度行った。

6. 非常災害防止の実施状況

(1) 避難、消火訓練

避難訓練・消火訓練は、計画をたてて毎月実施した。

(2) 総合訓練は、年に1回消防署員立会いのもとで実施した

(3) 交通安全

3ヶ月に1回、五島警察署交通指導員による幼児交通安全クラブへ参加し、交通安全全般についての勉強を行った。散歩など、園外活動の折には、その都度具体的な指導に心がけた。

7・ 地域団体、施設、住民と実施した交流事業

月	交流団体・施設名	内 容
7	祖父母、福江商店街	祖父母との七夕の集い・商店街への七夕飾り
9	保護者	運動会に招待し、ゲームなど共に楽しむ。
10	福江商工会	商店街で和太鼓演奏
11	緑小校区小学校、保育園	学校の職員、保育士等に公開保育に参加
11	警察、消防署、商店街	お世話になっている方々に勤労感謝の挨拶を行う。
12	保護者	クリスマス発表会に招待する。
1	警察官と地域住民	110 番の日 和太鼓演奏
3	商店街	拍子木を鳴らしながら火の用心を呼びかけた。
3	福江商店街	商店街にひな人形を飾る。
3	保護者	卒園式
3	消防署	幼年消防の修了式

8.研修計画

(1) 職員の外部研修への参加

年・月	研 修 会 名	参 加 人 数	参 加 者 名
4 月 18 日	保健衛生・安全対策	3	西津・松本・樽角
5 月 9 日	乳児保育	1	松尾
5 月 23 日	食育研修	1	小柳
6 月 8 日	理念研修	22	岩永・岩田・由利・浦・小柳他・
6 月 13 日	食育アレルギー	3	中尾・谷川・熊川
6 月 24 日	施設長研修	1	岩本
7 月 11 日	障害児保育	3	荒木・原口・川口
7 月 22 日	Binng 愛されている	20	小柳他
7 月 25 日	見たい景色と見える景色	2	岩永・岩田
8 月 8 日	保育指針法令	2	秋山・平田
8 月 28 日	特別な理解を必要とする	1	松本
9 月 19 日	主任・主幹研修	1	岩田
9 月 22 日	しま研修会	1	由利・荒木
10 月 25 日	主任研修会	1	岩永
11 月 7 日	赤ちゃんの行動	2	松尾・濱口
12 月 12 日	保育を見合い語り合う	2	岩田・由利
2 月 12 日	子どもの軸づくり	19	岩永他 18 名

園内研修の計画

見守る保育

- (1) リーダー会議、

7. 保育研修生、ボランティア受入れ

五島市立福江中学校3年生 4組

長崎県立五島海陽高等学校（長期就業体験）毎週火曜日 2名

8. 実施した施設整備

- (1) 施設の改築、修繕（100万円以上）（実施期間、内容、金額）

なし

- (2) 固定資産物品（10万円以上）の購入（年月日、物品名、金額）

なし

年月日	業者名	物品名	金額

11. 保護者会

園児の保護者またはそれに代わるものを対象として保護者会を結成する。

各クラス代表の役員を選出し、会長・副会長・会計・書記を中心に園行事への参加をしていただいた。必要に応じて保護者会総会・役員会を行った。

別紙1

令和6年度

年 間 行 事

月	行 事 内 容
4月	新年度始まり・災害訓練・和太鼓指導・こどもの日・尿検査・歓迎遠足
5月	母の日のプレゼント・聖母祭・誕生会・災害訓練・健康診断・交通教室
6月	歯科検診・健康診断・父の日のプレゼント・災害訓練・クッキング（3.4.5歳児）
7月	七夕・誕生会・プール開き・災害訓練・プール遊び
8月	交通教室・平和の集い・プール遊び

9 月	誕生会・災害訓練・敬老の日・運動会
10 月	運動会・誕生会・災害訓練・秋の遠足
11 月	地域活性化イベント・誕生会・花音演奏会・健康診断・七五三祝い・総合訓練・勤労感謝の慰問・交通教室・焼き芋大会
12 月	クリスマス発表会・キラキラデー・クリスマス会・災害訓練・クッキングクリスマス会
1 月	災害訓練・キラキラデー・不審者訓練・誕生会
2 月	卒園記念写真・節分・交通教室・キラキラデー・災害訓練・
3 月	ひな祭り・卒園式・幼年消防授与式・お別れ遠足・お別れ会・キラキラデー・保護者説明会・

別紙 2 職務分担表

令和6年度 聖マリア保育園 職務分担表

氏 名	役 割 と 内 容
園 長 岩本 美枝子	・ 理事会決議事項の執行 ・ 運営管理（人事、労務、施設、防火） ・ 保育業務の管理 ・ 財務管理 ・ 職員の資質向上 ・ 関係機関、保護者会等との連携、及び地域活動 ・ 苦情解決の責任者 他
主任保育士 岩永 真由子	・ 園長補佐 ・ 職員相互の連携 ・ 園内研修の企画及び指導 ・ 保育計画の作成及び保育内容の指導助言 ・ 苦情受付担当 ・ 園行事に関する計画及び指導 ・ 給食に関する指導助言 ・ 保健衛生に関する経過及び指導 ・ 職員会議の計画と実施 ・ 勤務シフトの管理 ・ 園児全体と家庭状況の把握 ・ 保護者の相談窓口 ・ 職場体験や実習生の受け入れ ・ 衛生推進者 ・ 職員のメンタルサポートや相談対応 ・ 教材やおもちゃ、絵本等の把握、注文他 ・ 見守る保育（主体性を培う保育）の環境づくりのアドバイザー
共 通	・ リーダーシップ：以上児クラス会議、未満児クラス会議を実施前、実施後に園長、主任に報告。 ・ リーダー会議（園長・主任・副主任）の報告を他の職員に伝達。 ・ 副主任としての役割と知識を理解し、主任保育士の下で、園の円滑な運営と職員の連携、保育の質を高めるために必要なマネジメント能力を身につける。 ・ 制度及び保育指針等の理解 ・ 他の職種との協働 ・ 組織目標の設定と解決策の検討 ・ 施設内研修の考え方と実践 ・ 実習生の対応 ・ 行事の準備
副主任保育士 岩田 静香 由利 美幸	・ 乳幼児教育に関する理解を深め、実践的な能力を身につける ・ 適切な環境の構成と改善 ・ 乳幼児の発達の理解 ・ 指導計画、記録、および評価に対する助言及び指導 ・ 小学校との接続 ・ クラス担当者の連携とコミュニケーションを図る ・ 適切な環境の構成と改善 ・ 保育内容に対する助言及び指導 ・ 見守る保育（主体性を培う保育）の環境づくり
5 歳児担任 吉本 有沙 4 歳児担任 小柳 麻衣子 松本 栞理 3 歳児担任 川口 瑞希 田川 小枝子	・ 以上児保育に関する理解を深め、実践的な能力を身につける ・ 各以上児クラスの保育士等と安全な環境の構成 ・ 現状の課題と改善 ・ 遊びを通しての総合的な指導 ・ 発達に即した運動あそびの提供 ・ 幼児期にふさわしい生活の理解 ・ 資質と能力を育むための保育内容 ・ 個々の子どもの発達の状況に応じた幼児教育 ・ 指導計画、記録、および評価に対する助言及び指導 ・ 幼児教育に関する適切な助言及び指導 ・ 小学校との接続 ・ 食育委員 ・ 見守る保育（主体性を培う保育）の環境づくり

看護師 中尾 志穂	・保健計画の作成 ・保健だよりの作成 ・子どもの発育、発達、保健衛生の理解 ・体調不良や傷害が発生した場合の対応 ・アレルギー疾患への対応 ・感染症対策ガイドラインの理解 ・救急処置及び救急蘇生法の習得 ・感染症の対策と登園時の対応 ・衛生管理等、保育者や保護者に適切な助言や指導 ・共通のおもちゃの消毒等管理、整理整頓（危険なものは破棄） ・離乳食に対するアドバイス、助言、指導
西津 亜紀 松本 栞理	・安全対策に関する理解を深め、適切な対策を講じることができる力を養う ・保育施設及び遊具等の事故防止＊職員の統一化を図る ・安全チェック表の作成 ・安全教育の実施 ・ヒヤリ・ハットの分析と活用 ・災害への備えと危機管理 ・事故発生時のガイドラインの理解 ・安全対策等訓練の実施計画 ・行政機関や地域機関との連携 ・職員間での安全管理の意識の向上 ・防災の日の集会
原口 小百合 岩田 静香	・ＩＴ環境の整備 ・ホームページの更新と管理 ・他職員にＩＴに関する助言と指導、支援 ・諸行事のプログラム、おみやげ等のイラスト作成 ・パワーポイントの作成（クリスマス会・卒園式等） ・研修時のパソコン、パワーポイント等の準備、片づけ ・外美化に関する担当（花、園庭の管理〔草・石〕、外倉庫の整理整頓等 ・内美化に関する担当（整理整頓、各箇所の掃除、ごみ等）
看護師 病後児保育担当 樽角 絵里香	・病後児担当 ・感染症等保護者へのお知らせ ・園児の検便、検尿の準備、名簿作成等 ・フッ化物の準備と書類等 ・歯科検診の累計 ・薬の管理と与薬 ・置き薬の管理 ・子どもの発育、発達、保健衛生の理解 ・体調不良や傷害が発生した場合の対応 ・アレルギー疾患への対応 ・子どもの発育、発達、保健衛生の理解 ・体調不良や傷害が発生した場合の対応 ・アレルギー疾患への対応 ・健康保健、薬等を保育士等、保護者に適切な助言や指導 ・保育の手伝い、依頼製作物などの手伝い
平田 泰子	・行事等の準備、アドバイス ・環境整備 （ごっこ遊びの作り物・発達を促す手づくりおもちゃの制作） ・裁縫、製作物の手伝い
調理士 山本 理恵 熊川 留美	・栄養に関する基礎知識 ・子どもの発達を理解し、それに基づいた調理の提供 ・アレルギー疾患の理解 ・おやつ担当 ・おやつ、調味料等の整理整頓と発注 ・子どもの食事に関する現状の把握 ・調理室の衛生管理（掃除等） ・食育の協力 ・調理用品、食器等の管理と補充依頼 ・体調不良児への食事の配慮 ・ゴミの仕分け、始末 ・畑の管理、野菜栽培、野菜の収穫、飼料づくり

2歳児担任 由利 美幸 荒木 優子 秋山 美香 濱窄 陽佳 1歳児担任 谷川 瑞希 原口 小百合 西津 亜紀 石黒 真奈美 0歳児担任 松尾 つかさ 中尾 志穂	・未満児保育に関する理解を深め、実践的な能力を身につける ・各未満児クラスの保育士等と安全な環境の構成 ・現状の把握と改善 ・個々の発達を促す生活と遊びの環境構成 ・発達の理解とそれに応じた保育内容 ・生活習慣の援助や関わり ・保育内容に対する助言及び指導 ・指導計画、記録、および評価に対する助言及び指導 ・食育委員 ・見守る保育（主体性を培う保育）の環境づくり
栄養士 浦 昌子 食育担当 小柳 麻衣子	・栄養に関する基礎知識・献立、給食だよりの作成と調理の基本 ・食育計画の作成（離乳食・幼児食）と活用 ・衛生管理の理解と対応 ・アレルギー疾患の理解 ・食に関する給食室と保育士等のパイプ役、指導と助言 ・体調不良児への食事の配慮 ・食事の提供における質の向上 ・食育のための環境を整える（畑の管理、野菜栽培、収穫と調理） ・子どもの発達を理解し、それに基づいた調理の提供 （現状把握・保育室に入り食事の様子を観る） ・食生活指導及び食を通じた保護者への支援や個別の面談 ・非常食に関すること ・食育の推進 ・嗜好調査 ・給食のレシピ配布
障害児担当 荒木 優子	・障害児保育に関する理解を深め、実践的な能力を身につける ・障害の理解 ・生活と遊びの環境 ・子どもの発達と援助 ・関係機関との連携 ・資料等の提供 ・支援会議の計画と開催 ・保育士等へ対象児の計画、記録、評価等の協議、助言、指導 ・『てをつなごう』の充実 ・絵カードの有効活用
保護者支援 子育て支援 濱窄 陽佳 松尾 つかさ 川口 瑞希	・保護者支援、子育て支援に関する理解を深め、適切な支援を行う ・保育士等に保護者支援、子育て支援に関する適切な助言、指導ができるよう実践的な能力を身につける ・子育て支援の現状と課題を見つける ・虐待予防と対応等 ・地域に関わった子育て支援 ・保育所の特性を生かした支援 ・保護者の養育力の向上につながる支援 ・関係機関との連携 ・地域資源の活用 ・外の掲示板の充実、活用（行事予定表作成等） ・『ほん輪か』の作成と配布
谷川 瑞希 田川 小枝子	・子どもの発達にあったおもちゃ等の提供と環境づくり ・製作遊びや資源（リサイクル）を使ったあそびの計画 ・玄関掲示板の製作（入園、新年、卒園） ・行事ごとのバック等（記念写真、こいのぼり、ひな祭り等） ・案内板の管理または作成 ・教材室の整理整頓、補充注文依頼と補充 ・キラキラデー（SDGs）の計画、実施
秋山 美香 石黒 真奈美	・子どもの感性を養うための環境構成 ・言語、音楽を使ったあそびの提供、指導、童謡や音楽の紹介 ・絵本、紙芝居、図書の整理と管理 ・CD、マイク、楽器等の管理、整理整頓 ・日用品の管理、整理整頓、補充依頼と補充 ・砂場の消毒 ・ミュージック DAY の計画、実施

看護師 中尾 志穂	・保健計画の作成 ・保健だよりの作成 ・子どもの発育、発達、保健衛生の理解 ・体調不良や傷害が発生した場合の対応 ・アレルギー疾患への対応 ・感染症対策ガイドラインの理解 ・救急処置及び救急蘇生法の習得 ・感染症の対策と登園時の対応 ・衛生管理等、保育者や保護者に適切な助言や指導 ・共通のおもちゃの消毒等管理、整理整頓（危険なものは破棄） ・離乳食に対するアドバイス、助言、指導
西津 亜紀 松本 栞理	・安全対策に関する理解を深め、適切な対策を講じることができ力を養う ・保育施設及び遊具等の事故防止＊職員の統一化を図る ・安全チェック表の作成 ・安全教育の実施 ・ヒヤリ・ハットの分析と活用 ・災害への備えと危機管理 ・事故発生時のガイドラインの理解 ・安全対策等訓練の実施計画 ・行政機関や地域機関との連携 ・職員間での安全管理の意識の向上 ・防災の日の集会
原口 小百合 岩田 静香	・IT環境の整備 ・ホームページの更新と管理 ・他職員にITに関する助言と指導、支援 ・諸行事のプログラム、おみやげ等のイラスト作成 ・パワーポイントの作成（クリスマス会・卒園式等） ・研修時のパソコン、パワーポイント等の準備、片づけ ・外美化に関する担当（花、園庭の管理〔草・石〕、外倉庫の整理整頓等 ・内美化に関する担当（整理整頓、各箇所の掃除、ごみ等）
看護師 病後児保育担当 樽角 絵里香	・病後児担当 ・感染症等保護者へのお知らせ ・園児の検便、検尿の準備、名簿作成等 ・フッ化物の準備と書類等 ・歯科検診の累計 ・薬の管理と与薬 ・置き薬の管理 ・子どもの発育、発達、保健衛生の理解 ・体調不良や傷害が発生した場合の対応 ・アレルギー疾患への対応 ・子どもの発育、発達、保健衛生の理解 ・体調不良や傷害が発生した場合の対応 ・アレルギー疾患への対応 ・健康保健、薬等を保育士等、保護者に適切な助言や指導 ・保育の手伝い、依頼製作物などの手伝い
平田 泰子	・行事等の準備、アドバイス ・環境整備（ごっこ遊びの作り物・発達を促す手づくりおもちゃの制作） ・裁縫、製作物の手伝い
調理士 山本 理恵 熊川 留美	・栄養に関する基礎知識 ・子どもの発達を理解し、それに基づいた調理の提供 ・アレルギー疾患の理解 ・おやつ担当 ・おやつ、調味料等の整理整頓と発注 ・子どもの食事に関する現状の把握 ・調理室の衛生管理（掃除等） ・食育の協力 ・調理用品、食器等の管理と補充依頼 ・体調不良児への食事の配慮 ・ゴミの仕分け、始末 ・畑の管理、野菜栽培、野菜の収穫、飼料づくり

令和6年度 聖マリア児童クラブ事業報告書

1. 児童クラブの運営

(1) 児童定員 50 名

(2) 学年別利用児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1年	11	11	11	10	10	11	11	11	11	11	11	11	130
2年	10	10	10	10	10	8	8	8	8	8	8	8	106
3年	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
4年	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	65
5年	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
6年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
うち障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	46	46	46	45	45	43	43	43	43	43	43	43	529

(3) 職員数 5 名

(4) 職員の移動

①採用

年 月 日	職 名	氏 名	年 齢	資 格
R7. 1. 1	保育士	鍋内 湊	27	有

②退職

年 月 日	職 名	氏 名	年 齢	資 格

(5) 職員会議の開催状況

毎月一回の全職員で行い、必要に応じて随時行った。

会議の内容は会議録に記載して保管している

2. 児童クラブの実施状況

(1) 児童クラブの目的

保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、授業の終了後等に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全育成を図る。

(2) 児童クラブの内容

- *児童の健康管理、安全確保、情緒の安定
- *遊びの活動への意欲と態度の形成
- *遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上
- *遊びの活動状況の把握と家庭への連絡

＊家庭や地域での遊びの環境作りへの支援

- (3) 開設時間 月曜日から金曜日 午後 1 時 30 分～午後 6 時 35 分
土曜日及び長期休暇期間 午前 8 時～午後 6 時 35 分

3. 健康管理の実施状

(1) 職員

- ①定期健康診断 6月1日より随時、聖マリア病院で行った。

研修計画

(1) 職員の外部研修への参加

年・月	研 修 会 名	参 加 人 数	参 加 者 名
6・ 11・15	放課後児童支援委員等資質向上研修会	1	深松
7・2・21	全国こどもの健全育成リーダー養成セミナー	1	瀬崎
7・2・12	感覚統合の基礎知識	3	瀬崎・深松・鍋内
7・2・20	特別な支援を必要とする子どもへの対応	1	鍋内

(2) 園内研修の計画

共通のテーマのもと、一年間を通じて保育園の職員と研修をする。研修の結果は記録して保存している。

- (3) 五島市で連絡協議会ができたので、児童クラブ同士の交流も進めている。

5. 実施した施設整備

- (1) 施設の改築、修繕(100万円以上) (実施期間、内容、金額)

- (2) 固定資産物品(10万円以上)の購入 (年月日、物品名、金額)

6. 保護者会

年度開始前に保護者の集会を行い、「児童クラブのしおり」の説明をする。

令和 6 年度事業報告書

社会福祉法人聖マリア会

居宅介護支援事業所聖マリアの園

令和 6 年度
居宅介護支援事業所
事業実施報告書

居宅介護支援事業所

在宅介護支援センター聖マリアの園

令和 6 年度事業実施報告書

居宅支援事業所
在宅介護支援センター聖マリアの園

≪事業計画≫

1. 基本事業

【毎月】

- (1) 利用者からの相談受付
→ご家族、関係機関(病院地域連携室、五島市地域包括支援センター等)からの依頼のうち、新規対応が重なり対応できなかったものが数件あった。
- (2) ケアプラン作成及びモニタリング
→モニタリングは毎月自宅、入所施設に訪問し実施。
- (3) サービス担当者会議
→認定更新時及びプラン変更時、新規事業所利用時等必要に応じ実施。
- (4) 利用者の居宅訪問
→毎月1回以上、入所施設でコロナ感染発生時には電話による聞き取りも一部実施。
- (4) 関係機関との連携及び連絡調整
→必要時随時実施。
- (6) 利用者の要介護認定申請及び更新申請の提出の代行
→要介護認定更新 60 日前及び区分変更申請時に対応。
- (7) 介護予防プラン及び日常生活支援総合事業計画作成(五島市地域包括支援センター委託分)
→本年度は新規受託なし。受託継続が1件。
- (8) 給付管理及び請求業務
→毎月国保連への給付管理・請求業務実施。
- (9) 介護予防及び日常生活支援総合事業計画作成委託料請求業務
→毎月実施
- (10) 情報伝達会議(週1回)
→毎週実施

【年間目標】

- ① キリストの愛に基づき、温かい思いやり、優しさを持って利用者様の人権を尊重し、その人らしい生活を支援する。
- ② 働き方や業務内容の見直しなど行い、働きやすい職場を目指す。

【実践報告】

- ① 在宅、施設においてその人らしい生活を支援できるように対応できた。一年間、苦情なく経過。
- ② 休日や勤務時間外の緊急対応に関しては職員了承の元、分単位で勤務時間の調整を行っている。有給休暇は希望通り取得。担当件数、新規受付に関しては各職員の業務進捗状況を事業所内で検討し業務過多とならないよう配慮し対応している。

《令和6年度給付管理実績》 ※月遅れ請求分はサービス提供月に合算

	居宅サービス計画作成依頼件数									
	事業 対象者	要支援		予防給付 受託件数	要介護					給付管理 件数
		1	2		1	2	3	4	5	
4月	0	1	0	1	33	16	21	8	5	83
5月	0	1	0	1	32	17	21	8	5	83
6月	0	1	0	1	32	15	18	10	5	80
7月	0	1	0	1	32	18	14	13	4	81
8月	0	1	0	1	29	21	13	11	4	78
9月	0	1	0	1	28	20	15	11	4	78
10月	0	1	0	1	31	21	16	14	2	84
11月	0	1	0	1	30	17	19	17	3	86
12月	0	1	0	1	28	21	19	16	3	87
1月	0	1	0	1	26	21	22	15	2	86
2月	0	1	0	1	26	20	20	13	2	81
3月	0	1	0	1	26	19	21	10	4	80
年間合計	0	12	0	12	353	226	219	146	43	987

《令和6年度加算算定実績》

	初回 加算	入院時 情報 連携 加算Ⅰ	入院時 情報 連携 加算Ⅱ	通院時 情報 連携 加算	退院 退所 加算
4月	5	2	3	2	0
5月	5	2	1	0	0
6月	1	3	2	0	0
7月	6	3	1	2	0
8月	4	5	0	0	0
9月	2	3	0	0	0
10月	6	4	2	1	0
11月	7	1	4	1	0
12月	2	6	1	0	0
1月	2	0	2	2	0
2月	5	2	2	0	0
3月	4	5	1	0	0
年間合計	49	36	19	8	0

単位数：件

・年間給付管理総件数 987 件 前年比 111.5% (令和5年度実績/885件) 要介護件数は月平均 82.3 件

・年間予防受託件数 12 件 前年比 -15% (令和5年度実績/14件) 受託件数は月平均 1 件

※介護予防の委託料は要介護の介護給付費の4分の1程度しかないが業務量は変わらないことと要介護の新規依頼が増えてきていることもあり、認定更新時に要介護から要支援になった利用者の方は五島市地域包括支援センターに対応してもらっている。

《その他》

① 苦情処理

- ・ R6 年度は苦情の訴え・相談等なく経過している

② 住宅改修相談

- ・ R6 年度の住宅改修のみの対応は 0 件

③ 地域支援事業

- ・ 配食サービス実態調査及び判定会議参加

④ 包括支援センター窓口業務

- ・ 相談業務・包括支援センターとの連携

⑤ 生活困窮者支援事業

- ・ レスキュー事業 CSW として対応。令和6年度対応実績 2 件(令和5年度末からの継続対応含む)
- ・ レスキュー事業対応案件支援会議参加

⑥ 施設内研修参加

- ・ 園内研修参加 (R6.6月7月、R7.1月2月)
- ・ 聖マリア病院学術研究発表会(オンライン/R6.6.20)
- ・ 聖マリア病院研修医研修(R6.8.2)

2. 事業加算（Ⅲ）について ※令和 5 年度より算定再開

- (1) 情報伝達開始開催（週 1 回）
- (2) 長崎県介護支援専門員実務研修実習受入機関委託契約更新
- (3) 事例検討会
五島市居宅支援事業所連絡協議会定例会にて実施され参加（R6. 6 月）
- (4) 地域ケア会議参加（R6. 9. 18/中尾）
- (5) 困難事例への対応

3. 介護支援専門員としての資質向上のための活動

- (1) 介護支援専門員連絡協議会定例会及び研修会参加 ※参加状況は別紙に記載

《総括》

コロナウイルス感染症が第 5 類に引き下げられた後も市中で感染が散見され、引き続きマスク着用、手指消毒の感染予防対策を継続。特定事業所加算Ⅲの算定要件の週 1 回の情報伝達会議開催、年間を通じた研修計画の策定、困難ケースの対応、実習生の受け入れ機関の契約継続（令和 6 年度は受け入れ要請なし）、24 時間の連絡体制確保、各種研修会や事例検討会等の参加を継続。

事業所全体で給付管理件数月平均 85～90 件（前年比+10～15 件/月）を令和 6 年度の目標に設定。年間給付管理件数は前年度より 102 件増の 987 件。給付管理件数は増えたものの、月平均 82.25 件（事業所で月平均 9 件増、介護支援専門員 1 人当たり月平均 2.8 件増）で目標には達しなかった。収支に関しては令和 6 年度の報酬改定で居宅支援費、特定事業所加算の単位数が上がったことに加え、居宅支援費Ⅰi1/1,086 単位（要介護 1・2）の利用者が 585 件から 579 件と横ばい、居宅支援費Ⅰi2/1,411 単位（要介護 3・4・5）の利用者が 300 件から 408 件に増加したことも収支改善の一因となった。令和 6 年度の介護報酬改定で介護支援専門員 1 人当たりの受け持ち件数の上限が 35 件から 44 件に引き上げられたが、44 件という数字は現実的に対応が厳しい。最近の利用者様、ご家族様の一部にカスタマーハラスメントに近い行為が見られ、職員の精神的な負担（精神不安定、不眠等）が増しており、受け持ち件数については各介護支援専門員の業務の進捗状況や心身の負担を考慮しながら引き続き調整を行っていく。介護予防マネジメント業務（五島市より委託）については昨年度に引き続き、新規の相談時及び認定更新の際、要支援認定の方は五島市地域包括支援センターにサービス計画作成を任せ、令和 7 年 3 月末時点での受託件数は 1 件のみ。

五島市では介護支援専門員の不足に伴い、要介護認定を新規で受けた方の担当ケアマネ探しに窮する状況が発生している。法人内でもケアマネ資格を取得している職員は数名で合格者はこの数年なし。本事業所のケアマネのうち 2 名が 60 代となり、管理者も 50 代で今後の人材確保は急務であるが令和 6 年度の介護報酬改定において居宅介護支援事業所の介護支援専門員は引き続き処遇改善の対象外とされ「きつくて給料が下がる」状態ではケアマネ資格取得を目指す職員がいない状況。そのため、法人内の介護支援専門員の受験要件を満たした職員が資格取得に関心を持ち、現任職員のモチベーションアップにもつながるよう、令和 6 年度の介護報酬改定における居宅支援費と特定事業所加算の上乗せ分+αを各職員の給付管理実績件数（実働数）に応じ、1,000 円/件の特別手当として年 2 回（9 月、3 月）に分けて支給していただくようにした。この特別手当に関しては園内研修などの際、ケアマネ資格取得し、居宅介護支援事業所に異動すれば夜勤をしない介護福祉士の資格を持つ非正規介護職員の処遇改善金を上回る支給になる可能性、正規職員として介護に仕事に携われ、夜勤はなく毎日曜日は休日等の説明を行い、関心を持った職員もいた様子。引き続き法人内の受験資格のある職員が介護支援専門員を目指したくなるような職場環境と待遇改善、ICT の活用など働き方改革を推進して魅力ある職場環境を目指したい。

《研修・会議等出席状況》

月	日	研修・会議名称等	出席職員	相談業務等
4月	2	聖マリアの園全体会議（年度目標・反省）情報伝達会議（週1開催） 情報伝達会議（週1開催 4/3、9、16、23）	山口・中尾 鍋内・山口・中尾	《在宅介護支援センター業務》 窓口相談業務 0件
	11	虐待防止検討委員会	山口・中尾	配食サービス新規・更新調査 2件
	18	五島市居宅介護支援事業者連絡協議会総会	鍋内	配食判定会議 0件
	23	支援調整会議参加（レスキュー事業対応案件）	鍋内	《生計困難者レスキュー事業》 1件
5月		情報伝達会議（週1開催 5/1、7、14、21、28）	鍋内・山口・中尾	《在宅介護支援センター業務》 窓口相談業務 0件
	13	感染対策委員会	中尾	配食サービス新規・更新調査 4件
	16	五島市居宅介護支援事業者連絡協議会定例会（ヤングケアラ関連）	鍋内・山口・中尾	配食判定会議 2件 《生計困難者レスキュー事業》 0件
6月		情報伝達会議（週1開催 6/3、11、18、25）	鍋内・山口・中尾	《在宅介護支援センター業務》 窓口相談業務 1件
	11	園内研修	鍋内・山口・中尾	配食サービス新規・更新調査 4件
	20	五島市居宅介護支援事業者連絡協議会定例会（事例検討会）	鍋内・山口	配食判定会議 0件
	20	聖マリア病院学術研究発表（オンライン）	鍋内・山口・中尾	《生計困難者レスキュー事業》 0件
7月		情報伝達会議（週1開催 7/1、9、16、25、30）	鍋内・山口・中尾	《在宅介護支援センター業務》 窓口相談業務 1件
	9	園内研修	鍋内・山口・中尾	配食サービス新規・更新調査 2件
	18	下五島地区お告げのマリア修道会職員研修会（オンライン）	鍋内・山口・中尾	配食判定会議 0件
	19	虐待防止検討委員会（書面回覧）		《生計困難者レスキュー事業》 0件
8月		情報伝達会議（週1開催 8/1、14、20、28）	鍋内・山口・中尾	《在宅介護支援センター業務》 窓口相談業務 0件
	2	聖マリア病院研修医研修	鍋内・山口・中尾	配食サービス新規・更新調査 5件
				配食判定会議 1件 《生計困難者レスキュー事業》 0件
9月		情報伝達会議（週1開催 9/2、10、17、24）	鍋内・山口・中尾	《在宅介護支援センター業務》 窓口相談業務 3件
	18	五島市自立支援型地域ケア会議	中尾	配食サービス新規・更新調査 5件
	26	五島市居宅介護支援事業者連絡協議会定例会（自主防災講話）	鍋内・山口・中尾	配食判定会議 4件 《生計困難者レスキュー事業》 0件
10月		情報伝達会議（週1開催 10/1、8、15、22、29）	鍋内・山口・中尾	《在宅介護支援センター業務》 窓口相談業務 1件
	8	虐待防止検討委員会	鍋内・山口	配食サービス新規・更新調査 1件
	17	五島市居宅介護支援事業者連絡協議会定例会 （介護保険外サービス等、障害者支援、地域コネクター交流意見交換）	鍋内・山口	配食判定会議 1件
	30	長崎県（ヤング）ケアラー支援における多分野連携研修	鍋内	《生計困難者レスキュー事業》 0件
11月		情報伝達会議（週1開催 11/8、14、19、25）	鍋内・山口・中尾	《在宅介護支援センター業務》 窓口相談業務 1件
	9	五島市居宅介護支援事業者連絡協議会独自研修会（ハラスメント対策）	鍋内・山口・中尾	配食サービス新規・更新調査 5件
				配食判定会議 2件 《生計困難者レスキュー事業》 0件
12月		情報伝達会議（週1開催 12/2、10、17、24）	鍋内・山口・中尾	《在宅介護支援センター業務》 窓口相談業務 0件
	12	五島市居宅介護支援事業者連絡協議会定例会（成年後見制度）	鍋内・山口・中尾	配食サービス新規・更新調査 3件
				配食判定会議 1件 《生計困難者レスキュー事業》 0件
1月		情報伝達会議（週1開催 1/4、7、14、22、28）	鍋内・山口・中尾	《在宅介護支援センター業務》 窓口相談業務 0件
	14	園内研修	鍋内・山口・中尾	配食サービス新規・更新調査 3件
	16	虐待防止検討委員会	鍋内・山口・中尾	配食判定会議 1件
	31	令和6年度第1回五島市地域福祉計画策定委員会	鍋内	《生計困難者レスキュー事業》 1件
2月		情報伝達会議（週1開催 2/3、14、18、25）	鍋内・山口・中尾	《在宅介護支援センター業務》 窓口相談業務 2件
	18	園内研修	鍋内・山口・中尾	配食サービス新規・更新調査 2件
	27	ケアプラン点検研修（ウェブ/実施主体：長崎県）	鍋内・山口	配食判定会議 0件
	28	感染対策委員会	中尾	《生計困難者レスキュー事業》 0件
3月		情報伝達会議（週1開催 3/4、10、18、26）	鍋内・山口・中尾	《在宅介護支援センター業務》 窓口相談業務 0件
	7	五島市居宅介護支援事業者連絡協議会定例会/ACP研修（オンライン）	鍋内・山口・中尾	配食サービス新規・更新調査 3件
	26	ACP意志確認書『わたしの希望』運用開始オンライン説明会	鍋内・山口・中尾	配食判定会議 2件 《生計困難者レスキュー事業》 0件

令和 6 年度
在宅介護支援センター
事業実施報告書

在宅介護支援センター聖マリアの園

令和6年度 五島市在宅介護支援センター事業実施報告書

在宅介護支援センター聖マリアの園

○運営方針

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続するためには、できるだけ要介護（要支援）状態にならないための介護予防対策から、様々な介護サービスを高齢者の状態の変化に応じて切れ目なく提供することが必要です。

このため、高齢者の心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助や支援を包括的に行う五島市地域包括支援センターと連携し、身近な地域の相談窓口として、重層的な体制で各種事業の円滑実施に努めます。

○活動実績

事業実施内容	実績
1. 窓口総合相談支援業務	9 件
介護保険（在宅）、介護保険（施設）、保険、医療、 介護予防・生活支援、その他	
2. 実態調査業務	実態調査/39 件
配食サービス実態調査及び判定会議参加	判定会議参加/14 回
3. その他	・五島市居宅介護支援事業所連絡協議会の 毎月の定例会(事例検討会・研修会他) ・11/9 介護支援専門員合同研修会
その他各種研修会及び事務連絡会参加	
社会貢献事業「生計困難者レスキュー事業」における 相談業務及び支援業務	2 件(R6. 3～4 月、R7. 1～2 月)

※1. 窓口総合相談支援業務及び2. 実態調査業務の詳細は別紙参照

○実施期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日（12か月）

○職員の状況

職種等	資格等
介護支援専門員	主任介護支援専門員、社会福祉士、介護福祉士
介護支援専門員	介護支援専門員、介護福祉士、
介護支援専門員	介護支援専門員、介護福祉士、

令和6年度 五島市在宅介護支援センター実態調査・窓口相談業務実施件数

1. 相談件数

区分		相談方法			
		電話	来所	訪問	計
相談者	家族	3	1	4	8
	本人			1	1
	関係機関				0
	相談協力員				0
	その他				0
	合計	3	1	5	9
男女比	男				0
	女				0

2. 相談内容内訳

区分	相談件数	構成比率
1. 介護保険(在宅)	8	88.9%
2. 介護保険(施設)	1	11.1%
3. 保険		0.0%
4. 医療		0.0%
5. 介護予防・生活支援		0.0%
6. その他		0.0%
合計	9	100%

3. 時間別相談内容

午前	件数	午後	件数	時間外	件数
8:00		13:00		18:00	
9:00	1	14:00	2	22:00	
10:00		15:00	2	0:00	
11:00	2	16:00		5:00	
12:00	1	17:00	1	計	0
計	4	計	5	合計	9

4. 相談者年齢別内訳

年齢	40未満	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上	不明	計
男						1		1
女			1	3		1	3	8
計	0	0	1	3	0	2	3	9

月別相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
家族	電話							1	1			1		3
	来所						1							1
	訪問			1	1		2							4
本人	電話													0
	来所													0
	訪問											1		1
関係機関	電話													0
	来所													0
	訪問													0
その他	電話													0
	来所													0
	訪問													0
月間計		0	0	1	1	0	3	1	1	0	0	2	0	9

配食サービス状況調査(新規・更新調査)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
現状調査	2	4	4	2	5	5	1	5	3	3	2	3	39
判定会参加	0	2	0	0	1	4	1	2	1	1	0	2	14